



## ✓ 国立大学法人 京都大学

### 1 | セミナー開催の目的、経緯

京都大学では、教職員が現在から退職後に向けて実りある人生を送るため、「健康」「経済生活」「生きがい」といったテーマごとに現状分析を行いながら、生涯生活設計に関する自分自身の目標や課題を明らかにし、生涯生活設計を立案していくことを目的として、毎年1回、生涯生活設計セミナー（退職準備型）を開催しています。

対象者は、京都大学、京都教育大学、京都工芸繊維大学、国際日本文化研究センター、総合地球環境学研究所、舞鶴工業高等専門学校、京都国立博物館、京都国立近代美術館の教職員で、おおむね50歳以上としています。

なお、セミナーの内容が、年金や医療保険といった公的制度から資産運用や生活習慣、余暇の過ごし方、家族との関わり等といった幅広い範囲に及ぶものであるため、実施にあたっては、運営のノウハウを豊富に有している教職員生涯福祉財団に依頼をしています。

### 2 | セミナーの実施内容 (プログラム等)

令和元年度に実施したセミナープログラムは次のとおりです。参加人数は45人でした。

#### 令和元年度 京都大学 生涯生活設計セミナー

**日 時：**令和元年10月9日(水) 9:50～16:50  
**会 場：**京都大学 事務本部棟5階 大会議室  
**講 師：**一般財団法人  
教職員生涯福祉財団セミナー推進員

#### 日 時：

9:35 受付  
9:50 開会 主催者挨拶  
10:00 【実習】豊かで明るい退職後のために  
【実習】退職後の健康プラン  
10:45 【実習】退職後の生きがいプラン  
(生涯生活設計表の作成)  
11:40 【講義】退職後の医療保険  
12:45 受付 ※午後からの参加者  
13:00 【講義】退職後の公的年金①  
14:00 【講義】退職後の公的年金②  
15:00 【講義】退職後の経済生活プラン  
(経済生活設計表の作成)  
16:20 閉会  
アンケート記入 公的年金等の個別相談

### 3 | 工夫した点

退職を間近に控えた教職員が対象であり、参加者にとって関心が深い①退職後の健康、②退職後の生きがい、③退職後の医療保険、④退職後の公的年金、⑤退職後の経済生活プラン、の五つのテーマを軸に実施しました。

参加者は退職後の医療保険や公的年金制度について説明を受け、理解を深めた後、各個人のライフプランに応じた退職後の具体的な支出や収入を算出していき、全体像が捉えにくい退職後に必要な資産額や支出額を体系的に捉えることができました。

また、退職後も充実した生活を送ることができるよう、経済生活のみならず、健康管理の方法や余暇の過ごし方、ボランティア活動といった人生の生きがいに関わることにまでレクチャーがあり、退職後の生活全

国立大学法人 京都大学では、京都大学や近隣の国立大学法人等に在職する

退職を間近に控えた教職員を対象として、

「生涯生活設計セミナー」を実施しています。



体を包括的に捉えたセミナーとなりました。

また、財団から配布されたテキストは、退職後の生活設計に関する事項が幅広く詳細に記されたものであり、参加者が将来のライフプランを策定するのに大いに役立つ内容でした。

閉会後には個別相談の時間を設けました。参加者からはセミナーの内容に関するより具体的な疑問や、公的年金制度のあらまし等について活発に質問がありました。

## 4 参加者の反応・アンケート結果

参加者は皆、退職後の生活設計という共通の関心を持って参加しており、講師の方々の説明を興味深く熱心に聞き入っていました。また、セミナーの進め方につきましても、講師の方々から適宜、参加者への質問やグループワークが盛り込まれ、打ち解けた雰囲気の中で行われました。

セミナー終了後、参加者にはアンケートに回答いただきました。

「退職後の生き方を考える契機となった」「老後の経済生活をリアルに感じとれた」といった声が聞かれ、多くの参加者から分かりやすい内容で参考になったと回答がありました。特に、近年話題となることが多い資産運用や年金については参加者の関心も大きく、複数の参加者から、より時間を取って説明してほしいとの要望が寄せられました。

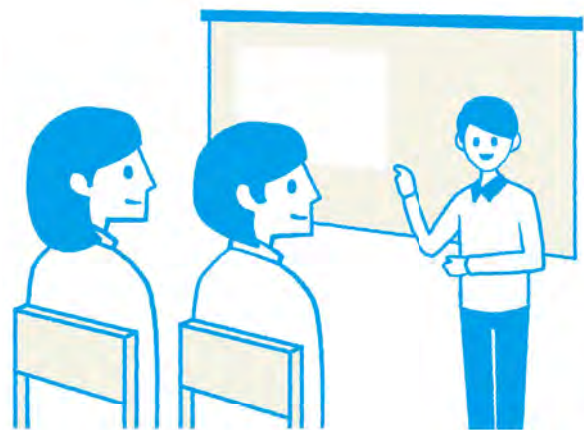
また、セミナーの開催数を増やしてほしいといった意見も寄せられ、参加者にとって有意義な内容であったことがうかがえました。

## 5 今後の課題

退職を控えた教職員にとっては非常に関係が深く、また関心を持っているテーマであり、参加者のニーズに合致した有意義な内容であると感じています。しかしながら、参加を希望しながらも日常の多忙な業務の中、参加できない方も多いのが現状です。そのため、できるだけ多くの方が参加できるよう開催方法や日時等を計画し、幅広く内容を周知していくことが重要と考えます。

教職員が将来の不安なく安心して業務を行っていくために、本セミナーは非常に重要であると考えています。自分自身の生涯生活設計を考えていく上で必要な情報が具体的・横断的に網羅された内容であり、将来のライフプランを策定する契機となるものと捉えています。

今後も、教職員のニーズを的確に捉え、多くの教職員にとって魅力的で有意義なものになるよう実施していきたいと考えています。



(京都大学 総務部 人事課 共済掛 稲葉 茂雄)